

特定一般教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	橋梁診断技術者育成課程				
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 5 回)				
指定講座番号(15桁)	2622002	—	2310023	—	2
講座の創設年月日	特定一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和3年4月1日	過去一年の講座実績	入講者数(4人)	修了者数 (4人)	
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間	98.5時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		資格の名称: 橋梁診断技術者 目標レベル: 国土交通省が発注する全ての道路橋の点検業務及び診断業務を実施できるレベル			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		独立行政法人 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		・次の(1)及び(2)を満たすこと。 (1)eラーニングを全て受講し、チェックテストに合格していること (2)本課程を構成する5講座の講習会を全て受講し、学修到達度確認を受けていること			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		道路橋の点検業務及び診断業務、道路橋の維持管理業務			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
eラーニング		33.09			
専門特修講座【橋梁長寿命化対策】		12.17			
専門特修講座【構造物の詳細調査】		13.33			
専門特修講座【施工技術と施工管理】		14			
専門特修講座【建設ICT】		13.42			
橋梁診断技術者認定講座【橋梁診断】		12.5			
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		・橋梁点検技術者を取得または取得予定の者 ・橋梁整備または維持管理に関する実務経験3年以上の者、または道路管理者(橋梁担当)としての実務経験3年以上の者			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者			
③その他					

〔特記事項〕

--

特定一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	4	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	4	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	4	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	2	人	合格率(④/③)	50.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	4	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		14	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	14	人		
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	6	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center;">14</div>	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	3	人		
	3 社内外の評価が高まる	10	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	9	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center;">0</div>	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center;">0</div>	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	14	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto; text-align: center;">14</div>	
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

『橋梁診断技術者』(国土交通省登録資格)取得者は、国土交通省発注業務等で担当技術者として業務を実施している。

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	本課程の最後に全ての受講者に対して橋梁診断技術者認定試験を実施し、実施結果から職業実践力の修得状況を検証する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	舞鶴工業高等専門学校。1講座2日間開催で全5回。

特定一般教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法			
(1) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	次の①及び②を満たすこと。 ①eラーニングを全て受講し、チェックテストに合格していること ②本課程を構成する5講座の講習会を全て受講し、学修到達度確認試験を受験していること		
(2) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各講座において学修到達度確認試験(橋梁診断技術者認定講座は橋梁診断技術者認定試験を兼ねる)を実施		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	講習会毎の受講者アンケートにより習得度・理解度を把握している。質問は随時受け付けており必要に応じて個別指導を実施している。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	修了生に対して、橋梁診断技術者認定試験を実施し、合格者に技術資格『橋梁診断技術者』(国土交通省登録資格)を付与している。修了生に対して、継続学修の機会(iMecフォーラム、リカレント教育プログラム等)を提供している。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	独立行政法人国立高等専門学校機構 (代表者名: 谷口 功)		
住所及び連絡先	〒193-0834 東京都八王子市東浅川町701-2 TEL 042-662-3120		
施設名称及び施設長名	舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター (施設長: 玉田 和也)		
住所及び連絡先	〒625-8511 京都府舞鶴市白屋234番地 TEL 0773-62-8877		
苦情受付者	氏名 増永 武夫 所属 舞鶴工業高等専門学校 総務課長	事務担当者	氏名 増永 武夫 所属 舞鶴工業高等専門学校 総務課長
連絡先	TEL 0773-62-5600	連絡先	TEL 0773-62-5600
特定一般教育訓練経費	1. 特定一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 195,000 円		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 0 円		
① 一括払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 195,000 円 (うち、必須教材費 0 円)		
② 分割払	2. 特定一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 円		
③ 両方可能	① 任意の教材費(税込額) 円		
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円		
	③ 施設維持費(税込額) 円		
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円		
	3. 総額 (1+2) (税込額) 円		